

# 維持修繕工事の品質確保 及び積算、監督・検査の効率化



防災・メンテナンス基盤研究センター 建設システム課  
 主任研究官 杉谷 康弘 研究官 桜井 真 研究官 行野 芳紹  
 交流研究員 大山 憲英 交流研究員 笹川 隆介 課長 古本 一司

(キーワード) 維持修繕工事、品質確保、積算、監督・検査

## 1. はじめに

社会資本の高齢化が進み、計画的な維持管理の重要性が増している一方で、国土交通省や地方公共団体では調達や監督・検査に係る職員数が減少していることから、維持修繕工事の積算の効率化や監督・検査の効率化が重要となっている。

国土交通省では、積算の体系化・省力化に取り組んでいるが、現場条件や施工内容が多様である維持修繕工事においては、標準積算基準が無い工種や標準積算基準の適用が出来ず、歩掛見積りを徴集し積算を行っている場合も多い。また、標準積算基準がない工種については、施工段階における施工管理基準等がないケースが多いなど、効率化の妨げとなっている。

## 2. 積算の効率化

全国の直轄事務所から歩掛見積りにより積算した工事の発注関係資料を収集、新土木工事積算体系の用語定義集を参考に工種の定義(素案)を整理し、工種等の分類を行った。合わせて工事に多く採用される工種について、工事発注の際に作成される設計図書(図面、特記仕様書等)に記載されるべき事項を検討し、受注者の意見も踏まえながら整理を行った(表)。

また、標準的な事項を整理した工種については、概算工事費の把握が出来るようにするため、工事費情報の収集様式を検討した。

## 3. 監督・検査の効率化

全国の直轄事務所から維持修繕工事の施工管理

(出来形、品質)に関する資料を収集し、共通仕様書に規定がない工種や2.で整理した工種について、施工管理の実態を整理。今後、同工種により施工する際に施工管理を効率的に実施するための参考となるように、工種ごとに実施項目や内容の整理を行った。

表 設計図書に記載すべき標準的な事項

設計図書	項目	留意事項
図面	全般	整えるべき図面の種類(橋梁一般図、構造図等)
	一般図等	橋梁の場合、工事箇所の明示
	構造図	工事目的物の仕様明示内容
	その他	参考図(参考事項)の明示方法
特記仕様書	搬入路	搬入路の路線番号(Ex.国道〇〇号)
		搬入口の状況(整備済み、未整備)
	工期	工事に必要な期間と、工事以外の期間の有無
	施工時期	河川非出水期間
		その他施工期間の制約を受ける条件の有無
	施工時間	夜間作業の有無。
		交通規制が出来る時間
周辺環境	DID地区の有無	
関係機関調整	協議状況(協議中、完了見込み、済み)	
	当該工事で実施すべき協議の有無	

これらの情報は、現場で役立つよう、より実用的なものとすることを目指している。

## 4. 今後に向けて

概算工事費等の情報を収集整理し、維持修繕工事の積算の効率化の検討を行うとともに、監督・検査の効率化に向けた施工管理情報等についてもとりまとめていきたい。